

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション



新聞コーナーがさらに充実！
地方紙が読めるようになりました

4月より、9道県10紙の地方紙が新たに加わりました。2Fパープルゾーン「新聞コーナー」でご覧いただけます。

- | | | |
|-------------|--------------|---|
| 北海道新聞 (北海道) | 中国新聞 (広島県) | ● 朝刊のみ |
| 河北新報 (宮城県) | 愛媛新聞 (愛媛県) | ● 保存期間：1年 |
| 新潟日報 (新潟県) | 西日本新聞 (福岡県) | ※全紙、土日の配送はありません。また、配送状況等により遅れが生じる場合があります。 |
| 静岡新聞 (静岡県) | 沖縄タイムス (沖縄県) | 新聞の読み比べや情報収集に、ぜひ活用ください！ |
| 神戸新聞 (兵庫県) | 琉球新報 (沖縄県) | |

展示 PICK UP

■ 2Fパープルゾーン【江戸・東京】の本を集めたゾーン

～7/14(金)

東京に出会う

前期(3/13～5/12):「あなたと上京」 後期(5/16～7/14):「人とまちと物語」



あなたにとって「上京」は、どんなイメージでしょう。あこがれ、不安、進学、就職、夢、挫折……人の数だけ様々です。新年度に合わせて前期は「上京」にスポットをあてました。ご自身と重ね合わせてみたり、もし自分だったら?と空想してみたり。新生活を彩る展示です。



←あなたの上京エピソードと重なるかも!?



『上京する文学 漱石から春樹まで』
● 岡崎 武志 著
● 新日本出版社
● 2012年

『東京23話』
● 山内 マリコ 著
● ポプラ社
● 2015年



■ 2F パープルゾーン 三角台

～5/12(金)



春は長い冬を乗り越えて訪れる始まりの季節です。草花が芽吹き、新たな生命の躍動が感じられるようになります。この展示では春の草花についての本や、季語や俳句など季節を表す言葉についての本をご紹介します。春を感じてもらうとともに、春の表現についても興味をもっていただけたら幸いです。



『カーネーションの文化誌』
● トウイグス・ウェイ 著
● 竹田 円 訳
● 原書房
● 2021年



展示の様子

■ 3F エレベーターホール

～5/27(土)

日比谷ボードゲーム部 関連展示



5月27日(土)にボードゲームイベント「日比谷ボードゲーム部」が開催されます。今回メインで行うのは、5種類の資源(穀物、羊毛、木材、鉱石、煉瓦)を使い開拓地を広げて競い合う開拓ゲーム「カタン」です。この展示では「カタン」と「ラプレーター」の現物をご覧いただけるほか、パネルや関連図書でボードゲームをご紹介します。

『ゲームメカニクス大全 ボードゲームに学ぶ「おもしろさ」の仕掛け』
● Geoffrey Engelstein, Isaac Shalev 著 ● 翔泳社 ● 2020年

日比谷ボードゲーム部 MAIN GAME「カタン」

◆ 日時:5月27日(土) 14:00～16:30(13:45開場)
◆ 定員:20名(12歳以上・小学生不可)
◆ 会場:4階セミナールームA ◆ 参加無料
事前申込みが必要です。お問合せはホームページまたは日比谷図書文化館 03-3502-3340(代表)まで



5月の展示情報

※展示情報は変更する場合がございます。

3F プルゾーン 「映画的本棚—CINEMATIC SHELF—」(～6/16)

3F グリーンゾーン 「手～ふれあいから生まれるもの～」(～5/12)

▶▶▶入館の際は、手指消毒・検温のご協力をお願いします。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

《特別研究室企画展示》

100年後も手に取れる本に

～内田嘉吉文庫修復報告2023～

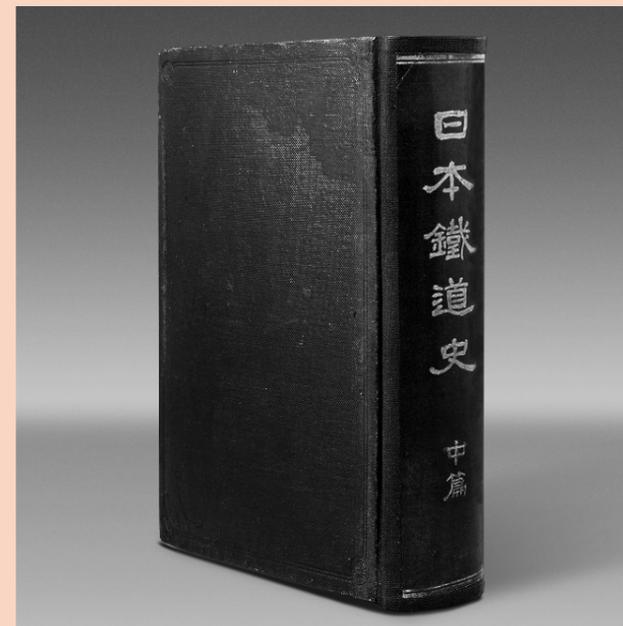
貴重な古書の数々を直に手に取って見ることが出来る特別研究室では、閲覧や展示によって破損が進んだ本の修復を毎年行っています。2022年度は内田嘉吉文庫をはじめとする17点の所蔵資料を修復しました。昨年開業150周年を迎えた日本鉄道史関連本や美しい図版が収められた大型の洋書、関東大震災の記録など様々な種類の資料が安心して手に取れるよう修復されました。書籍修復家による創意工夫を凝らした修復過程の記録を公開し、修復された資料を展示しています。

◆ 期間: 開催中～6/18(日)

※会期中展示替えがあります。休館日:5月15日(月)

◆ 開室時間: 平日 10:00～20:00
土曜 10:00～18:00
日曜・祝日 10:00～16:00

◆ 会場:4階特別研究室 ◆ 入場無料



写真(左) 破損前の背表紙を復元した『日本鉄道史 中篇』
写真(右・上) 修復後中性紙ボードケースに収められた『震災画報』
写真(右・下) 「交差式製本」で修復した『鴨緑江橋梁工事概要』

- ◆ 主な展示図書
『日本鉄道史 上・中・下』(1921年)
『大正震災所感』(1924年) 『震災画報』(1923-24年)
『Atlas du Voyage D'exploration en INDO-CHINE』(1873年) ほか

関連講座

6/17(土) 資料を活用するための修復 —合冊製本から分冊製本へ—

講師:近藤 理恵 (製本・書籍修復家)



雑誌や書籍を一冊にまとめて資料を保存する「合冊製本」は開きにくい、かなりの重量があるなど、必ずしも扱いやすいものではありません。そこで、特別研究室では2020年度より合冊製本を「分冊製本」に

戻す修復を試みています。本講座では特別研究室所蔵資料の分冊製本による修復を手がけた講師が、より扱いやすく、活用しやすくするための修復の作業過程とその意義についてお話しします。

■ 日時:6月17日(土) 14:00～15:30 (13:30開場)
■ 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■ 定員:60名 ■ 参加費:1000円 (千代田区民・学生500円)
※当日、受付で住所が確認できるもの、学生証をご提示ください。

calendar 開館時間:平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

| 2023年 5月 | | | | | | | 2023年 6月 | | | | | | |
|----------|----|----|----|----|----|----|----------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | | | | 1 | 2 | 3 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 28 | 29 | 30 | 31 | | | | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |

! 掲載されている内容について変更や中止となる場合があります。最新情報は、ホームページ等をご確認ください。



access
〔都営地下鉄〕
● 三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
〔東京メトロ〕
● 丸ノ内線
● 日比谷線
「霞ヶ関駅」B2出口徒歩3分
● 千代田線
「霞ヶ関駅」C4出口徒歩3分
JR「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

5・6月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

5/5 (金) てんぷらの達人・近藤文夫が語る池波正太郎～池波正太郎没後33年～

講師：近藤 文夫(てんぷら近藤主人)

5月3日の池波正太郎の命日に合わせ、山の上ホテル勤務時代から池波に可愛がられていた近藤氏をお招きします。池波の「食」に関するエピソードや池波が体調を崩してから食事をお届け続けたお話など、料理人・一般人の目から見た池波正太郎を語っていただきます。

- 日時：5月5日(金)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円



5/8 (月) 初代国立劇場さよなら公演×日比谷カレッジメイキング オブ 歌舞伎イヤホンガイド編

講師：佳山 泉(イヤホンガイド解説者)

2023年10月末に国立劇場は閉場し、建て替え期間に入ります。それにちなんで、歌舞伎をより楽しめる、芝居を支える仕事を学ぶ講座を開きます。今回は歌舞伎や文楽などのお供・イヤホンガイドを解説します。歌舞伎や文楽には独特の約束事や見方がありますが、これを舞台の進行に合わせてわかりやすく音声で解説を受けられるのがイヤホンガイドです。イヤホンガイドはどのように作られているのか、イヤホンガイド解説者がお話しします。(協力：国立劇場)



初代国立劇場

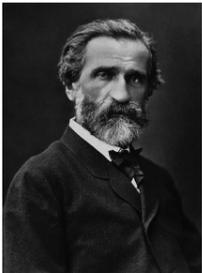
- 日時：5月8日(月)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

5/18 (木)他 日比谷オペラ塾 オペラ・あ・ら・かると

オペラ初心者から愛好者までが楽しめる多彩なオペラの魅力を縦横に紹介します。5月は、数多くの名作を生み出したヴェルディ作品を彩った台本作者にスポットを当てて、オペラ研究家の香原斗志さんに台本の重要性について語っていただきます。

- 日時：5月18日(木)19:00～20:30(18:30開場)「ヴェルディの台本作者たち」講師：香原 斗志(オペラ研究家)
- 6月15日(木)19:00～20:30(18:30開場)「R.シュトラウス「サロメ」の真実」講師：広瀬 大介(青山学院大学教授)

- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：各回60名 ■ 参加費：各回1500円



ジュゼッペ・ヴェルディ (1813-1901)

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

5/19 (金) 一時をかけて、映画音楽の歴史の旅へー日本映画音楽を10倍楽しく聴く方法

講師：志田 一穂(ラジオDJ・文筆家)

近年では国内外で人気の坂本龍一や、ジブリの久石譲、『ALWAYS 三丁目の夕日』の佐藤直紀が顕著ですが、クラシック及びジャズ界から映画界に入った作曲家たち、70s、80sと時代の文化を反映させたアーティストたちなど、掘れば掘るほど面白いのが日本映画音楽です。さらにタイアップなどの裏事情も絡み…。そんなディープなお話を共有します。

- 日時：5月19日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円



5/26 (金) 翻訳者が語る 世界文学への旅4 ハン・ガンの詩と小説を通して韓国文学を読み解く

講師：斎藤 真理子(韓国語翻訳者)

世界で最も注目されている韓国作家・ハン・ガンの『引き出しに夕方をしまっておいた』(きむふなどの共訳)を担当した翻訳者が、韓国文学における詩の大切さや、個人の痛みと社会の痛みが交錯するハン・ガン作品の特徴、ひいては現代韓国文学の根底にあるものについて考察します。

- 日時：5月26日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

※2022年10月12日(水)に開催を中止した講座の延期開催です。



ハン・ガン著 きむふな・斎藤真理子訳『引き出しに夕方をしまっておいた』(クオン刊)

6/1 (木) 美術鑑賞への入口講座 vol.3 タダで観られるけど、タダならぬアートの世界パブリックアートを見て歩こう

講師：浦島 茂世(美術ライター)

街のなかにある芸術作品=パブリックアートの歴史となりたち、そしていつかは見ておきたいおすすめ作品をお伝えします。駅前のブロンズ彫刻や、オフィスビルに置かれた立体オブジェ、日比谷公園のなかなど、東京はパブリックアートばかり。お話を聞いた後は、街歩きがさらに楽しくなるはずです。

- 日時：6月1日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：1000円



樽谷謙太郎《ペリカン噴水》(日比谷公園)

6/8 (木) 江戸歴史講座 第77回 家康がみた江戸の城と町

講師：齋藤 慎一(江戸東京たてもん園専門調査員(学芸員))

家康と私たちの住む東京はとりわけ深い関係にあるのは間違いありません。通説としては寒村だったと説明されていました。ところが、近年では大きく見直されています。家康を迎えた江戸はどのような場・空間であったのでしょうか。地図を片手に歩くように一緒に考えてみましょう。



江戸城本丸 富士見三重櫓

- 日時：6月8日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円(千代田区民500円)

6/22 (木) 第18回ジャパンナレッジ講演会 辞書は用例がいのち～辞書編集者を悩ませる、日本語 ⑩

講師：神永 暁(辞書編集者)

辞書編集者 神永さんによる講演会。10回目となる今回のテーマは、国語辞典の「用例」をクローズアップ。国語辞典史を語るうえで外せない、用例採取の名手である3人の国語辞典編集者の話を皮切りに、用例を読むとどんな気づきがあるのかを国語辞典最高峰といわれる『日本国語大辞典 第二版』の編集を担当した神永さんが伝えます。

(主催：株式会社 ネットアドバンス、共催：日比谷図書文化館)

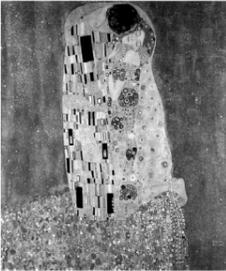


- 日時：6月22日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

6/29 (木)他 名画のなかの“恋人たち”ーAI時代に問われる絵画の意義(全3回)

講師：永井 龍之介(永井画廊代表取締役)

昨年アメリカの絵画コンテストで「AI絵画」が大賞を受賞し、「アートに作者は不要か」などと話題になっています。恋愛もできない、友情も生じない、既成概念だらけのAIに本物の絵画を描けるはずありません。AI時代を迎え、改めて絵画の意義が問われています。愛することが生きることであり、生きることが絵を描くことにつながったクリムトとムンク、後に“世界的美術界を征服した”と評されるまでになったモネとルノワール、友情なくして名画が生まれなかったゴーギャンとゴッホの“人間ドラマ”など、巨匠たちのエピソードを通して、絵画とは何かに迫ります。



グスタフ・クリムト《接吻》 1907-1908年

- 日時：第1回 6月29日(木)19:00～20:30(18:30開場)「クリムトとムンクー名画誕生の裏に“女あり”」
 - 第2回 7月27日(木)19:00～20:30(18:30開場)「モネとルノワールー既成概念をぶち壊せ」
 - 第3回 9月28日(木)19:00～20:30(18:30開場)「ゴッホとゴーギャンー男同士の友情なくして名画は生まれなかった」
 - 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 - 定員：各回200名 ■ 参加費：各回1000円
- ※各回のお申し込みが可能です。

古文書塾てらこや体験講座 ◆各回1000円

初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めます。6月期の開講に合わせ、古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意しました。



| | 講座名 | 曜日・時間 | 実施日 |
|-------------------------|---|------------|------|
| 入門コース 120分 | 古文書のいろは 筆字のくずし字 | (月) 10:30～ | 5/22 |
| | | (月) 13:30～ | 5/22 |
| | | (火) 10:30～ | 5/30 |
| | | (木) 13:30～ | 5/18 |
| | | (金) 13:30～ | 5/26 |
| 本科コース 120分 | 文人画と碑文一掛軸を読む 古文書の保存・修復の知技能ー古文書保存のセラピスト講座 武家文書を読むー幕府崩壊事情 幕末・江戸庶民の世相を読むー「弘化雑記」の世界 くずし字で楽しむ江戸歌舞伎 | (月) 18:30～ | 5/22 |
| | | (火) 10:30～ | 5/23 |
| | | (火) 13:30～ | 5/23 |
| | | (日) 13:30～ | 5/28 |
| | | (火) 13:30～ | 5/30 |
| 特別講座 90分 | 大久保利通の手紙を読む 開国ニッポンの外国人 江戸を楽しむー江戸の寺社あれこれ 江戸・明治の書状を読むー形式と内容、一步から | (水) 13:30～ | 5/31 |
| | | (木) 10:30～ | 5/25 |
| | | (土) 13:00～ | 5/27 |
| | | (火) 19:00～ | 5/30 |
| | | (水) 13:30～ | 5/24 |
| 特設 月1回 コース 90分 | ハーバード大学蔵『源氏物語 須磨』を読む[異文を楽しむ講座] 陽明文庫蔵『源氏物語 桐壺』を読む[翻字者育成講座] | (金) 13:00～ | 5/19 |
| | | (金) 15:30～ | 5/19 |

- 会場：4階スタジオプラス、セミナールーム
- 定員：各講座23名(申込順) ■ 費用：各回 1000円
- 資料請求・体験講座のお問い合わせ：電話(03-3502-3340) 日比谷図書文化館代表 古文書塾てらこや担当迄

From Chiyoda Public Library 千代田区立図書館からのお知らせ



こどもの読書週間 in 千代田区立図書館

ヨムキクちよだ2023

「こどもの読書週間(4/23～5/12)」に合わせて、子ども向けイベントを中心に様々なイベントや展示を行います。詳しくはホームページをご覧ください。



【としょかんをめぐるろう! スタンプラリー】

- 開催中～5月14日(日) 「ヨムキクちよだ」のイベントや、各まちかど図書館を巡ってスタンプを集めた方に記念グッズをプレゼント(数量限定)します。

【おはなしに出会えるパン屋さん2023】

- 開催中～4月28日(金)、5月8日(月)～12日(金) ※土・日休み 千代田区役所1階 さくらベーカリー 絵本の世界をイメージしたオリジナルパンを販売します。 昨年の様子

【えほんの世界へようこそ!】

明治大学混声合唱団と読み聞かせのコンサート

- 5月13日(土)11:30～/15:00～(各回約45分) 千代田区役所1階 区民ホール 赤ちゃんから大人まで楽しめる、絵本の読み聞かせと合唱を組み合わせたコンサートです。